



# 港南中便り

第14号

学校公式ホームページ <https://konan-j.esnet.ed.jp/>

## 今、前に動けば 自分と未来は変えられる！！

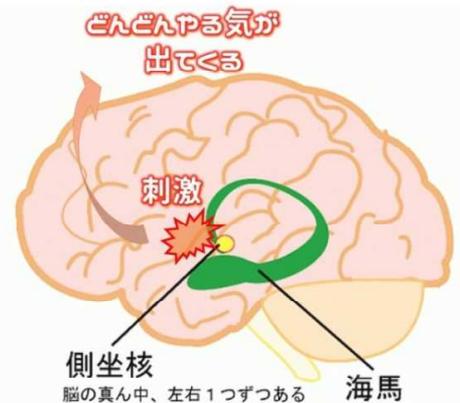
学習と進路

来月の10月7日（月）に、国公立の先生方をお迎えしての進路説明会を開催します。3年生の保護者だけでなく、1、2年生の保護者の方も参加できます。是非、御参加ください。

運動会も終わり、3年生にとっては、卒業後の希望する進路を実現するための大切な時期となりました。希望を実現するためには、入試に合格しなければなりません。そのために学校では、普段の授業だけでなく、テスト前の「テスト勉強」を1年生の時から習慣づけさせ、3年生の入試に備えさせる指導を重ねています。しかし、生徒の中には、テスト勉強の積み重ねが不十分なため、思うように成績が上がらず、勉強することが苦痛になって「やる気が出ない、、、」という生徒もいます。

### Q 「やる気」はどこから？

「やる気」は脳のほぼ真ん中にある側坐核(そくざかく)という部分働き、脳内物質が分泌することで「やる気」が出てきます。側坐核に刺激を受けると勉強の「やる気」が出るのですが、この側坐核はやっかいで、やる気を出そうと思っても、なかなか活発に動き出しません。では、どうすればこの側坐核が活発に働き、やる気が出て勉強できるのでしょうか？



### A1 とりあえず動こう！

答えは、「実際に行動する」ことです。脳の側坐核は作業すると、興奮し活発に動き出し、やる気につながります。これを「作業興奮」といいます。まずは問題集や教科書を開き、手を動かし問題を解く、英単語を発音するなど実際に行動すると、脳に刺激が与えられ側坐核が活発に働きだし、勉強するやる気が出るのです。



### A2 手軽な勉強から始めよう！

そして一度、側坐核が働き出すと、どんどん「やる気」は出てきます。つまり、「やる気」は行動しなければ出ません。「勉強しなきゃ」と思っているのに「やる気」が起こらず、悩んでしまいがちですが、人は、何かをやり始めないとやる気はでないのです。ですから、やる気を出すコツは、できるだけ、ハードルの低い部分から手をつけてみることです。勉強する気になっていないときは、少し簡単なこと、例えば、その日の勉強計画を立てる、英単語を読む、今まで勉強した問題集

< まずは、作業的な勉強から >

を復習として解くなど、できるだけ負担の少ないことから始めてみるのがいいのです。また、運動など身体を動かしても側坐核は働き出します。**始めの一歩を自分の意思で**少し動かせれば、やる気は湧き上がります。

### A3 仲間と共に学習する！

生徒の学ぶ意欲は、「何を勉強するのか」ということだけでなく、「**誰と勉強するのか**」ということの方が大きい傾向があります。「先生が好きだから」、「親しい友だちがいるから」……学ぶ意欲が出てくることが多いようです。そして、そこから学習自体のおもしろさにも引きつけられていきます。意欲は学習しながら出てくるものです。授業で学ぶ意欲を引き出してくれるものの一つが**人間関係**です。



さあ、1年も半分過ぎました。個人個人が努力するとともに、良い学級や学年、学校のムードを作り、その中で仲間と共に向上してほしいものです。

< 仲間と共に学習する >

## 自分の未来を自分の力で切り開く！！

— 3年生の12月 受験校を決め 手続き開始 —

### □ 二つの入試制度

高校入試の制度には、一般入試と推薦入試の2種類あります。現在、私立高校、県立高校、国立高校の全ての高校にその2種類が取り入れられています。



6月に行われた進路説明会→

### □ 私立高校の入試の特徴

**私立高校の入試は、推薦入試も一般入試も、3年生の評定が重視されています。**

志望する高校の学科・コースに求められる**評定**を満たしていないとその学科・コースは不合格となることが多々あります。ですから、11月の定期テストは、とても重要です。しかし、残念ながら、自分の進路実現や受験の意識が低く、まだ本気で勉強に取り組めていない生徒もいます。10月になるのをきっかけに、「本気の勉強」を期待しています。

さて、評定は、テストのみではなく、学習態度や努力の過程(ノートや挙手、提出物等)も含まれています。また、入学してほしい生徒の第1条件は、「基本的な生活習慣が身に付いている生徒」です。基本的な生活習慣が身に付いているとは、「学習意欲があり、言葉遣いや礼儀、時間のけじめや服装・頭髪等の学校生活のルールを守っている生活」です。「**言葉と態度に心が表れる**」といいます。「はい」と言える**素直な心**。「すみません」と言える**謙虚な心**。「ありがとう」と言える**感謝の心**など、心を表す「あいさつ」が社会人になるためにも大事であることは御承知のとおりです。

入学試験は3学期にあります。手続き等の関係もあり、私立高校の受験校の決定や願書の作成は、3年の冬休み前から始まります。そのための受験校を話し合っていく懇談会は、以下のとおりです。

**3年生は、2か月半後には、受験校を決めて、手続きをしていくことになります。**

< 12月13、16、17日の懇談会 >

- 私立高校の推薦受験校と一般受験校
  - 国立高校の推薦受験校と一般受験校
  - 県立高校の推薦受験校
- を話し合い、決定します。

**今、前に動けば、自分と未来は変えられる！！**